

農林業センサス等を用いた基盤整備地域の動向分析とその特徴

鳥羽由紀子・土井謙児
(長崎県総合農林試験場)

Yukiko Toba and Kenji Doi :
The trend analysis by the basis service area which used agriculture
and forestry industry census data and so on and the characteristic

1. はじめに

生産性向上, 優良農地の確保, 担い手への農地集積, 地域農業の活性化等を目的に行われる圃場整備事業は, 本県では1967年以降2000年までに30地区の県営事業が完了している。しかし, 高齢化, 担い手減少等が進み, 農業産出額, 土地利用率が計画を下回る地区も多い。このため, 県では2004年度から営農活性化のソフト事業に着手した。これは, 3年間で9か所の営農活性化を重点的に支援するもので地区の実態把握が重要となっている。そこで本報告では, 2002年度に県が30地区を対象に行った「県営基盤整備地区の実態・意向調査」をもとに, 圃場整備地区の実態と今後の意向を明らかにした。

2. 対象農家と調査項目

対象農家は, 県営事業地区30地区の受益農家7,621戸のうち, 畑総事業等を除く23地区のアンケート回収農家5,783戸とした。なおこれは県総農家数の13%に相当する。また, 対象農家の所有する基盤整備面積は2,198haで, 県全体の水田・畑地面積の11%を占めている。調査項目は, 圃場ごとの面積・所有者・耕作者・2001年の作付品目, 土地の貸借・経営規模の実態・意向等である。

3. 結果

1) 耕地面積と土地利用について

23地区の地区外および借地も含めた1戸あたり平均耕地面積は107aで, 2000年センサスの県平均85aの1.3倍であった。土地利用の状況を把握するため, 2001年夏作面積に占める夏作面積と冬作面積の割合(以下, 土地利用率と表記する)を算出したところ平均128%で, 鳥嶼・県北地域が低かった。また, 17地区が事業開始時に比べて土地利用率が低下していた。なお, 土地利用率と所有者・耕作者の年齢構成, 受委託作業実施面積割合, 1戸あたり全耕作面積等の関係についてはいずれも相関はみられなかった。

整備圃場での栽培品目は水稻が主で飼料作物が多く, 他はバレイショ・ブロッコリーなどの露地野菜, イチゴ・アスパラガスなどの施設野菜, 葉たばこなどである。飼料作物は当初の計画に比べ導入が進んでおり主に肉用牛産地での作付けが拡大している。反面, 露地野菜については導入が遅れており, 排水不良が要因のひとつと考えられる。

2) 所有者と耕作者の人数, 1人あたり耕作面積, 年齢構成について

23地区の整備圃場所有者のうち2001年夏に作付実績があった(以下, 耕作者と表記)のは82%で, うち2地区は耕作者が所有者の半分以下であった。地域別では, 鳥嶼地域が最も低く77%, 次に県北地域81%, 県南地域90%の順であった。所有者・耕作者の年齢構成は, 県販売農家世帯主に比べ59歳以下の若い年齢層が多い(第1表)。しかし, 全体の30~40%を65歳以上が占め, 特に鳥嶼地域でその傾向が強い。次に耕作面積を耕作者年齢別でみると, 耕作者数の51%を占める59歳以下が耕作面

積の58%を担っていることがわかる。

3) 今後の営農意向について

今後の営農意向については, 78%が「現状維持」と答え, 「規模縮小」と「離農」の消極意向が「規模拡大」と「ハウス栽培開始」の積極意向を上回った(第2表)。また, 耕作規模が大きい農家ほど「規模拡大」や「ハウス栽培開始」の意向が強く, 耕作規模が小さい農家に「離農」意向が多い。地域別では, 鳥嶼地域の「離農」意向が高く「規模縮小」と「離農」の回答農家の平均規模が他地域に比べ大きい。年齢階層別の意向をみると, 30~64歳では「拡大」または「ハウス栽培開始」意向農家と「規模縮小」または「離農」意向農家が同程度存在している。しかし65歳以上では, 「規模縮小」または「離農」が「規模拡大」または「ハウス栽培開始」を上回っている。

4. おわりに

今回の調査で, 所有者と耕作者のアンバランス, 全体の30~40%を65歳以上世帯主農家が占め鳥嶼でその傾向が強いこと, 地域間での土地利用率の格差等が明らかとなった。しかしその要因の解明は, 立地条件, 就農状況, 農家形態等の農業を取り巻く環境が一様でないこともあり整理するには至らなかった。圃場整備地区の営農活性化は重要課題であり, 引き続き要因解明を行い, 現地での営農活性化計画策定の支援をしていきたい。

第1表 所有者および耕作者の年齢構成割合と耕作者年齢別耕作面積の割合

	39歳以下	40代	50代	60代	70歳以上	65歳以上
23地区の整備圃場所有者	5%	17%	26%	24%	28%	41%
うち鳥嶼	5%	15%	26%	23%	30%	43%
うち県北地域	4%	17%	26%	25%	28%	40%
うち県南地域	5%	17%	26%	25%	27%	39%
23地区の整備圃場耕作者	5%	20%	26%	25%	24%	36%
うち鳥嶼	4%	17%	27%	25%	27%	40%
うち県北地域	5%	20%	27%	25%	22%	34%
うち県南地域	6%	24%	25%	24%	21%	32%
県販売農家の世帯主	4%	16%	22%	31%	27%	42%
23地区の耕作者年齢別耕作面積	6%	23%	29%	24%	18%	30%

第2表 今後の営農意向の回答農家割合と回答農家の意向別平均耕作規模

	規模拡大したい	ハウス栽培したい	現状維持	規模縮小したい	離農したい	回答なし
23地区計	5%	2%	78%	5%	6%	4%
回答農家割合						
うち鳥嶼	5%	2%	77%	4%	9%	3%
うち県北	5%	1%	79%	5%	5%	4%
うち県南	4%	2%	80%	5%	5%	4%
回答農家の平均耕作規模(a)						
23地区平均	198	151	100	101	58	82
うち鳥嶼	191	142	104	126	62	100
うち県北	218	166	94	85	63	58
うち県南	182	145	104	90	48	88